北九州工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	生涯スポーツ

科目基礎情報

科目番号	0088	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	生産デザイン工学科（機械創造システムコース）	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員	八嶋 文雄,濵田 臣二,山本 浩二,小幡 博基		

到達目標

1選択した種目の運動技術を向上させることができる
2運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、協力して主体的に取り組むことができる
3ルールやゲームの運営方法などを理解し、自己の役割に対する責任を果たしながら安全に留意して活動することができる

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	授業計画に記載の各種目における基本的な動作を習得し、実技テストの課題を十分にクリアすることができる。また、基本的な技術をプレーの中で十分に活かすことができる。	授業計画に記載の各種目における基本的な動作を習得し、実技テストの課題を概ねクリアすることができる。また、基本的な技術をプレーの中で活かすことができる。	授業計画に記載の各種目における基本的な動作の習得が困難で、実技テストの課題をクリアすることができず努力を要する。また、基本的な技術をプレーの中で活かすことが難しい。
評価項目2	授業計画に記載の各種目において、運動の楽しさや喜びを味わい、合意形成に貢献したり仲間と互いに協力して意欲的に取り組むことが十分にできる。	授業計画に記載の各種目において、運動の楽しさや喜びを味わい、合意形成に貢献したり仲間と互いに協力して意欲的に取り組むことが概ねできる。	授業計画に記載の各種目において、運動の楽しさや喜びを味わい、合意形成に貢献したり仲間と互いに協力して意欲的に取り組むことができない。
評価項目3	授業計画に記載の各種目において、運動に適した格好でルールやマナーを守りながら、健康・安全に留意して活動することが十分できる。また、グループやチームの一員として自己の役割を果たすことが概ねできる。	授業計画に記載の各種目において、運動に適した格好でルールやマナーを守りながら、健康・安全に留意して活動することが概ねできる。また、グループやチームの一員として自己の役割を果たすことが概ねできる。	授業計画に記載の各種目において、運動に適した格好でルールやマナーを守りながら、健康・安全に留意して活動することができない。また、グループやチームの一員として自己の役割を果たすことができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	各種の運動の実践を通して基本的な運動技術の向上を図り、運動技能をより高めるとともに、記録の向上や競争、勝敗を競ったりして多様な楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができるようにする。
授業の進め方・方法	授業は実技を中心に行うが、取り扱う種目の特性や学生の実態に応じて体育理論やスポーツテストと関連づけて行う。 また、必要に応じて視聴覚教材も利用する。 種目の選択に際しては、人数や他クラスとの兼ね合いで変更する場合がある。 雨天時は種目の変更、若しくは視聴覚教材を利用して実施する。 必要に応じてレポートを課すことがある。
注意点	スポーツ活動に適したウェア、シューズを準備すること。 ウェア、シューズの貸し借りは衛生上好ましくないため禁止。 貴重品の管理は各自で行うこと。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
		2週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
		3週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
		4週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
		5週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
		6週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
		7週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
		8週	種目選択１（ネット型・ベースボール型）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を選択して運動技能を高める
	2ndQ	9週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		10週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		11週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める

		12週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		13週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		14週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		15週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		16週	種目選択１（種目替え）	バレーボール・ソフトボール・テニスの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
後期	3rdQ	1週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		2週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		3週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		4週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		5週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		6週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		7週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
		8週	種目選択２（ゴール型・ネット型）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を選択して運動技能を高める
	4thQ	9週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		10週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		11週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		12週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		13週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		14週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		15週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める
		16週	種目選択２（種目替え）	バスケットボール・サッカー・バドミントンの中から種目を替えて選択し運動技能を高める

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	

評価割合

	技術・技能試験	協力的学習				合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0